

かつて貴婦人たちが愛した「薔薇」をガーデンに。

今年は急に気温が上がったため、ソメイヨシノがあっという間に満開になり、見頃が短かったですね。

桜が終わり、5月に入る頃、ウエリス宝塚ではバラの見ごろを迎えます。

最も特徴的な品種は、「ベルサイユのバラ」で有名なマリー・アントワネットが描かれた肖像画で手にしているバラ、「ロサ・ケンティフォリア」。

マリー・アントワネットが愛したこのバラは、あまり見かけない品種です。

ナポレオンの妻ジョセフィーヌは、バラの名園であるマルメゾン城の庭園で、世界各地から様々なバラを集めさせて栽培させていました。そのマルメゾン城に咲いていた「ロサ・ルゴサ」。

2013年まで宝塚歌劇場に隣接していた宝塚ガーデンフィールズの庭園シーズンズには、英国一美しいと言われるシシングハースト城の

シンボル庭園に咲いているバラ「ロサ・ムリガニー」が咲いていました。このバラもウエリス宝塚でご覧頂けます。

宝塚の方々に愛された宝塚ガーデンフィールズの庭園シーズンズに咲いていたバラ、「モッコウバラ」も配植しました。

「モッコウバラ」は、エレガンスガーデンのパーゴラでは白い花が、アーチウォークのアーチでは黄色の花を楽しんで頂けます。

他にも、阪急西宮ガーデンズのスカイガーデン内に咲く「ロサ・アイスバーグ」も取り入れました。春だけでなく秋まで花を咲かせる品種です。

貴婦人達が愛したバラの美しさと香りを身近に楽しめる、ウエリス宝塚の今の季節の風景を愛しんで頂けますように…



▲ロサ・ケンティフォリア



▲ロサ・ルゴサ



▲ロサ・ムリガニー



▲モッコウバラ



▲ロサ・アイスバーグ

「ウエリス宝塚」の4つのガーデンをトータルプロデュース。

「記憶を継承する風景の創出」と「五感で体感するランドスケープ」を主軸として、公共空間から商業施設、医療施設、住空間、屋上庭園など、あらゆる屋外・屋内空間に、ランドスケープデザインの視点から幅広く携わっている。宝塚ガーデンフィールズの植物を移植した「阪急西宮ガーデンズ内ローズガーデン」など実績多数。



一級造園施工管理技士
ランドスケープデザイナー
岡田 智子